

お元気ですか

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523

です



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス **minami@jcp-shinagawa.com**

補助29号線を通すために

なんと

大崎図書館を移転

6月30日の文教委員会にかかった、大崎図書館の移転に反対する請願（2種類）の審査で、大崎図書館の移転（5月11日の1162号で既報）は補助29号線をつくるためのものだったことがわかりました。区の姿勢は本当にひどすぎます。

放課後安心して利用できる図書館として信頼

大崎図書館の移転に反対する請願は、2種類提出されました。一つは大崎図書館に近い芳水小学校PTA会長を代表にして地域の5町会長連盟の請願。もう一つは大崎図書館を日常的に利用している個人の方です。

PTA会長と町会長連盟の請願には、大崎図書館が1963年7月に地域の方たちの尽力により「子供たちの文教の場」としてオープンしたなどの経過が書き込まれていました。開館当時、芳水小学校の図書すべて寄贈したこと、今日まで日常的に図書館を活用してきたことなどが記述され、どれだけ地域に大事にされ、親しまれてきたかがわかる請願です。

もう一つの請願は、小さなわが子が図書館に行くのを楽しみにしているのになくなった

てしまうと聞き、なくさないでと訴える請願です。

区の移転理由とは

30年以上経過し、施設の老朽化が著しいこと、北品川5丁目の御殿山小学校西側敷地内に移転し、文化教育機能の充実を図るためと説明しました。

さらに移転後は、大崎駅西口に図書館跡に取り次ぎサービスと、図書閲覧コーナーを、芳水小の改築に合わせて図書館の取次サービスや閲覧コーナーをつくるよう計画すると説明。何が何でも、移転させるとのことでした。

南は「補助29号線にかかる私立幼稚園の代替施設に大崎図書館跡をという噂は本当か？」と質問すると、区は否定しませんでした。

道路をつくるために幼稚園をどかし、図書館を玉突きで追い出す、これが区のやることでしょうか。

品川の福祉

23区最低の福祉の底上げを

6月26日から始まった区議会で、南恵子は一般質問でタイトルに書いた「品川の福祉」の底上げ求めました。紙おむつ、緊急通報システム、障害者福祉タクシー券、難病手当、障害者や高齢者の施設整備など23区で最低レベルになっていたのです。

紙おむつは、在宅で介護を受けている高齢者に、社会福祉協議会から宅配されます。

その財源は区からの補助金もありますが、社会福祉協議会が民生委員などを通じて寄付を呼び掛けていることがわかりましたが、町会などから「税金の二重取りだ」「寄附集めを民生委員にやらせるのはおかしい」との批判がでています。

品川ともう一区以外は税金で支給していますが、また、入院すると支給される紙おむつは使えないため、品川以外は現金支給になります。入院中一番費用が掛かるのが紙おむつですから、その要望は理解できます。

■紙おむつ支給

在宅の紙おむつ支給枚数は**23位**。

財源は寄付金、21区は税金。入院時現金支給していないのは品川区だけ

■高齢者・障害者の緊急通報システム

年間9600円（月800円）の有料。有料6区中一番高い、17区は低所得者無料。。

■障害者福祉タクシー券の支給枚数

月2300円分で**22位**。23区平均は3300円

■難病手当

月1万円で**23位**。17区は1万5千円以上

■身体障害3級と知的障害4度の障害者福祉手当

月4500円で**22位**

■障害者の施設整備率

障害者のグループホームやケアホーム**20位**
就労支援施設B型**22位**

■高齢者の施設整備率

老人保健施設**21位**（4年後の2か所目含む）
特養ホーム**15位**（増設予定の3か所含む）

共産党はこれまでも繰り返して現金支給と枚数増を求めてきましたが、23区最低になってきたのです。答弁は、「在宅支援を重視してきた。枚数の見直しもして

いるが、今後も見直す。」と23区最低であることを認めようしませんでした。一方で77億円の基金をため込んでいます。これを使えば十分可能です。

生活・雇用・子ども

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523

教育など何でもお気軽にご相談ください